

2023年10月24日

## Audi R8 LMS GT4、スーパー耐久 岡山戦でクラス初優勝

- TECHNO FIRST、ST-Z クラス優勝
- Audi Team Hitotsuyama、ST-Z クラス4位
- Audi Team Hitotsuyama の宮田 莉朋は、本大会 ST-Z クラスのベストラップを記録

アウディ ジャパン（東京都品川区、ブランド ディレクター： マティアス シェーパース）が、Audi Sport customer racing プログラムとしてサポートする国内カスタマー（プライベート）チーム TECHNO FIRSTは、10月21日（土）-22日（日）、岡山国際サーキット（岡山県：全長3,703m）にて開催された、スーパー耐久シリーズ2023 第6戦「スーパー耐久 in 岡山」にAudi R8 LMS GT4で参戦、初優勝しました。今年のスーパー耐久シリーズで、通算3回の表彰台を獲得したAudi R8 LMS GT4は、優れたパフォーマンスと高い耐久性を証明しました。

スーパー耐久シリーズでは、GT3やGT4といった高性能マシンをはじめ、様々なクラスのマシンが参戦し、混走により速さと耐久性を争います。岡山国際サーキットは、国内外のモータースポーツイベントが開催され、観客席からコースまでの距離が近く、レースの迫力を身近に感じられるのが特徴です。今回のスーパー耐久シリーズ2023 第6戦は、3時間の耐久レースとして行われました。

Audi R8 LMS GT4が参戦するST-Zクラスは、GT3とTCRのあいだを埋めるGT4マシン9台によって戦われました。Audi R8 LMS GT4は、市販モデルのAudi R8 Coupéと60%以上の部品を共有しており、速さはもちろん安全性、耐久性、整備性が高く、コストパフォーマンスに優れていることが特徴です。加納 政樹、大草 りき、安田 裕信の3名のドライバーによるTECHNO FIRST は、SUN'S TECHNO Audi R8 LMS GT4によって予選をトップで通過。決勝もポール トゥ ウィンでそのままチェッカーフラッグを受け、堂々クラス初優勝を獲得しました。また、ベンチャー投資のファンディーノ Audi R8 LMS GT4で参戦した、山脇 大輔、ショーン ウォーキンショー、宮田 莉朋の3名によるAudi Team Hitotsuyamaは、ST-Zクラス4位、完走を果たしています。なお宮田 莉朋は本大会にて、ST-Zクラスのベストラップを記録しました。

アウディ ジャパンは 2016年来、Audi Sport customer racingパーツトレーラーを全国のサーキットに配備してレースに参戦するカスタマーチームをサポートしています。今年も専用のトレーラーにボディ、トランスミッション、エンジン等、レース車検に適合した約3,400アイテム、約11,300点の部品を積載し、いかなるレース展開にも対応できる万全の体制を整えて、SUPER GT、スーパー耐久、およびTCRジャパンに参戦するチームと共にサーキットを転戦しています。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社  
アウディ ジャパン 広報部

報道関係者お問い合わせ：  
<https://audi-press.jp/contact/>

アウディ ジャパン プレスサイト  
<http://www.audi-press.jp/>

お客様お問い合わせ：  
アウディ コミュニケーション センター  
0120 - 598106



---

アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、12カ国21か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界100以上の市場に存在しています。2022年、アウディ グループは、161万台のアウディ、15,174台のベントレー、9,233台のランボルギーニ、および61,562台のドゥカティを販売しました。2022会計年度において、アウディ グループは総収益618億ユーロ、営業利益76億ユーロを達成しました。世界中で、アウディ グループでは2022年に87,000人以上が働き、そのうち54,000人以上がドイツのAUDI AGで働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。

---